

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日 作成

事務事業名		未登記調査整理事業		担当課	建設課					(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
				担当G	都市計画グループ					活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)				
まちづくりプラン (基本目標)		振興	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち	1	8	1	1		ア		筆	30	25	20	10	10	
(個別目標)		振興	1	憩いにあふれ住みたくなるまち	主な費目					イ		人	50	50	50	50	50	
(施策)		振興	3	生活道路の整備・保全	対象					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)		総合			市道・生活関連道路及び水路とした土地が未登記の土地所有者					ア		筆	30	20	20	5	5	
(施策)		戦略			事業期間					イ			8	5	2			
				年度～年度 ( 年間)														
(1) 総事業費の推移		単位	3年度		4年度		5年度		6年度		7年度		8年度		(4) 評価		所管課による評価	
			(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)					
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	千円												有効性評価	未登記となっている土地は公衆用道路等、公共性が高い土地であるため、市の行政財産として管理を行うべき土地であり、速やかに所有権を移す手続きが必要である。		
		国県支出金	千円															
		その他特定財源	千円															
		一般財源	千円	1,537	3,764	1,941	4,669	4,600	4,600									
		事業費計 (A)	千円	1,537	3,764	1,941	4,669	4,600	4,600									
		所要人員 (年間)	人	0.200	0.400	0.400	0.400	0.400	0.400									
人件費	人件費概算 (B)	千円	1,120	2,240	2,240	2,240	2,240	2,240										
	(A) + (B)	千円	2,657	6,004	4,181	6,909	6,840	6,840										
(2) 事業概要																		
事業目的	未登記となっている市道等の所有権移転登記を行い、適正に管理することを目的とする。																	
事業内容	過去（合併前）の事業における工事完了後未だ所有権移転登記のなされていない道路、水路等を対象に調査、調書の作成及び測量図作成業務を委託し、地権者等へ説明を実施し、理解を求め、関係者からの承認を得た後、所有権移転登記等を行い、行政財産として適正管理する。また、市民の問合せ（地籍測量等）によって発覚した未登記についても、内容を精査し、適宜対応する。																	
開始経緯	生活関連道路等の改良、舗装事業は、地域住民からの要望が多くあり、地域の地権者等の同意を得て実施してきた。所有権移転登記等については、事業完了後、実施することとなっていたが、登記事務の遅れや漏れ等の要因で未登記となった案件が多数存在することとなり、その未登記案件を解消することと目的として事務事業が開始された。																	
実施状況	所有権移転登記をするため、測量図作成等を公益社団法人鹿児島県公共嘱託登記士地家屋調査士協会に委託した。測量図等を基に地権者（相続人を含む）に対し、面談、郵送、電話対応等にて事業説明を行った。																	
成果	地権者、相続人との交渉の結果、所有権移転登記を行った。																	
課題	優先度を把握し、地権者への説明と理解を求めながら、年次的に登記業務を進めているが、年数が経過し、地権者や相続人が亡くなるケースが増え、相続によって交渉する相手方が増加傾向にある。また、相続人は当時の事業の内容や土地の所在を把握していない事が多く、交渉が難航する案件が増えている。																	
	改革改善案		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了									

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名	都市計画事業		担当課	建設課					(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度			
			担当G	都市計画グループ					活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)			
振興計画体系	1	<都市基盤>「郷と郷」「人と人」「物と物」のつながりがあるまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	市内全域	ha	29,001	29,001	29,001	29,001	29,001	29,001		
(個別目標)	2	適切かつ計画的な土地利用によるコンパクトなまち	主な費目	1	8	5	1					イ							
(施策)	1	地域課題に応じた計画的な整備	対象	市民					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)			
(基本目標)	総合戦略		事業期間	年度～ 年度 ( 年間)					ア	区域全域	ha	3,051	3,051	3,051	3,051	3,051	3,051		
(施策)									イ	都市計画審議会	回	1	0	1	1	1	1		
(1) 総事業費の推移		単位	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価								
年間トータルコスト	事業費	千円	107	65	4,369	3,689	3,500	3,500	有 効 性 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のニーズ</li> <li>・事業の効果</li> <li>・政策との整合性</li> <li>・事業を廃止の影響</li> <li>・類似事業との連携</li> <li>・公平性</li> </ul> <p>将来あるべきまちを示し、住みやすく活力あるまちづくりを持続的に推進するため、必要な規制、誘導、整備を図る。 また、総合振興計画にも適正な都市利用の推進を図るとしており、今後も秩序あるまちづくりを推進する。</p>									
	財源内訳	千円	15,316		9,583	17,426	1	1											
	国県支出金	千円																	
	その他特定財源	千円																	
	一般財源	千円			0	313	8,499	8,499											
	事業費計 (A)	千円	15,423	65	13,952	21,428	12,000	12,000											
人件費	人	0.350	0.350	0.350	0.350	0.350	0.350	効 率 性 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業効果向上</li> <li>・事業費削減</li> <li>・事務の効率化</li> <li>・費用対効果</li> <li>・財政負担の必要性</li> <li>・関係者との連携</li> </ul> <p>土地利用に規制・誘導を図ることにより、まちの集約化が図られ、少子高齢化社会に適応したまちづくりに期待ができる。 また、志布志港を拠点として広域物流軸の整備が進められることにより、産業機能を誘導し、一体的なまちづくりが図られる。</p>										
所要人員 (年間)	人	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960												
人件費概算 (B)	千円	17,383	2,025	15,912	23,388	13,960	13,960												
(A) + (B)	千円							達成度評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標</li> <li>・目指す状況</li> <li>・実現性</li> <li>・情勢・環境の変化</li> <li>・事業期間</li> </ul> <p>将来の志布志市が目指すまちづくりにおいて、人口減少に伴うまちのスポンジ化に対応するため、都市機能・居住機能を分けてコンパクトなまちづくりを図る必要があります。 また、東九州自動車道や都城志布志道路の供用に伴い、人の流れ・車の流れが大きく変化し、それに伴いIC周辺地域への開発圧力が高まっているため、無秩序な開発を抑制し、適切な土地利用の推進を図る。</p>										
(2) 事業概要								改 革 改 善 案							拡充	○ 現状維持	改善	効率化	廃止終了
事業目的	志布志市の将来あるべき姿を想定し土地利用の規制・誘導・整備を行い、公共の福祉の推進に寄与するため、法律に基づき秩序あるまちづくりを図る。																		
事業内容	都市計画に関する事項や、地域の特性や新たな土地利用の動向に注視しつつ、効率的な都市環境を形成し、都市計画区域や地域地区並びに都市施設の決定を行う。																		
開始経緯	昭和9年に都市計画区域を決定し、都市計画法（昭和43年法律第100号）第77条の2第1項の規定に基づき志布志市都市計画審議会を設置している。																		
実施状況	令和6年度に立地適正化計画策定を予定している。これに伴い都市計画区域の現状を把握する必要があるため、令和5年度に県補助金を活用して都市計画基礎調査の予算要望を行った。また、都市計画道路見直しについても県との協議を実施した。																		
成果	都市計画基礎調査業務作成、都市計画道路見直し検討作成																		
課題	広域交通網整備によるIC周辺への無秩序な開発抑制。自然災害（南海トラフ地震等）に備えた強いまちづくりへの誘導を図る必要がある。																		

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		景観政策推進事業					担当課		建設課		(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度				
							担当G	都市計画グループ					活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
							予算科目	会計	款	項	目	備考	(実績)	(実績)	(実績)							
まちづくりプラン (基本目標)	振興	1	<都市基盤>「郷と郷」「人と人」「物と物」のつながりがあるまち					1	8	5	1		ア	空家解体相談件数	件	0	0	0	0	0		
(個別目標)	計画	2	適切かつ計画的な土地利用によるコンパクトなまち					主な費目	報償費、負担金、補助及び交付金					イ	管理不全空家件数	件	0	0	0	0	0	
(施策)	体系	1	地域課題に応じた計画的な整備					対象	市民					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
(基本目標)	総合							事業期間	年度～年度 ( 年間)					ア	補助件数	件	60	60	60	60	60	60
(施策)	戦略													イ	解決件数	件	0	0	0	0	0	0
				3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4)評価		所管課による評価										
(1) 総事業費の推移		単位	(実績・決算)		(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	有 効 性 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のニーズ</li> <li>・事業の効果</li> <li>・政策との整合性</li> <li>・事業を廃止の影響</li> <li>・類似事業との連携</li> <li>・公平性</li> </ul> 少子高齢化を受け本市においても人口減少とともに管理不全空家の増加に歯止めがかからない。 このことから、志布志空家等対策計画に基づき、所有者及び管理者へ管理不全空家の指導・助言を行い、自助による解体を促し、その費用の一部を補助する解体撤去事業を推進していく。											
年間トータルコスト	財源内訳	千円																				
	国県支出金	千円																				
	その他特定財源	千円	16,254	14,746	18,682	18,000																
	一般財源	千円				942	18,942	18,942														
	事業費計 (A)	千円	16,254	14,746	18,682	18,942	18,942	18,942	18,942													
	人件費	人	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250													
	人件費概算 (B)	千円	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400													
	(A) + (B)	千円	17,654	16,146	20,082	20,342	20,342	20,342	20,342													
(2) 事業概要											効 率 性 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業効果向上</li> <li>・事業費削減</li> <li>・事務の効率化</li> <li>・費用対効果</li> <li>・財政負担の必要性</li> <li>・関係者との連携</li> </ul> 本事業を推進していく中で、補助事業の要件で市内解体事業者を利用することとしており、市内解体事業者の雇用の確保が図られる。また、更地にすることにより、土地利用の推進が図られる。										
事業目的	市内に散見される管理不全な空き家の解決を図り、住環境の向上並びに安全安心なまちづくりを形成する。																					
事業内容	地域の歴史、自然等を活かした景観まちづくりを推進するとともに、適正な管理が行われていない家屋所有者等に対し補助事業の活用や、特措法に基づき助言、指導を行い、景観及び住環境を向上させる。																					
開始経緯	平成16年に景観法が制定され、本市においても平成19年10月1日に県の同意を得て景観行政団体となった。今後は、景観計画の策定を視野に研究を進めていく。また、市内に散見される管理不全の空家も志布志市の景観を阻害する要因となっている。このことから、国の空家等推進に関する特別措置法が制定されたことを受け、本市においても平成29年に志布志市空家等対策計画を策定した。																					
実施状況	解体撤去補助金	住宅の場合	30万円以上の解体工事に対し1/3 上限30万円								達 成 度 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標</li> <li>・目指す状況</li> <li>・実現性</li> <li>・情勢・環境の変化</li> <li>・事業期間</li> </ul> 総合振興計画の目標値以下としているが、少子高齢化に伴う人口減少に歯止めがかからないことにより、管理できない空家も増加の傾向である。 しかしながら、空き家に関する取り組みを行っていることにより、一定の成果は図られているため、今後も本事業を推進する。										
	補助要件	附属家等の場合	30万円以上の解体工事に対し1/3 上限15万円																			
	滞納が	所有権が明確であり、現に使用若しくは居住の用に耐えられない状態であり、市税等の無く市内の事業者を利用する者																				
成果	志布志市危険廃屋解体撤去事業の推進 R5実績 相談件数 147件 補助件数 75件 管理不全空家所有者に対し文書による通知 R5実績 相談件数 15件 解決件数 6件 市内にある危険な廃屋の除去を行い、快適な住環境の推進が図られた。 法改正 (R5.12) の改正に伴い、「志布志空家等の適正管理に関する条例」を策定した。										改革改善案	拡充	○ 現状維持	改善	効率化	廃止終了						
課題	管理不全建築物において、法人所有 (閉鎖法人) や相続者に対し、どのような手法を用いるべきか、弁護士などの専門家と協議を行いながら実施する必要がある。																					

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		都市公園等管理事業		担当課	建設課					(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
				担当G	都市計画グループ					活動指標 (実施状況)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
				予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	公園利用申請に伴う利用者数	人	6,000	4,000	4,000	4,000	4,000
まちづくりプラン (基本目標)		振興計画体系	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち		1	8	5	2			イ	2,142	2,682	2,129		
(個別目標)		1	憩いにあふれ住みたくなるまち		主な費目		需用費・委託費・工事請負費			イ	年間利用団体数	団体	30	30	30	30	30
(施策)		4	公園・緑地の整備		対象		都市公園等利用者			成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
(基本目標)		総合戦略			事業期間		年度～年度 ( 年間)			ア	相談件数		0	0	0	0	0
(施策)										イ			2	3	4		
(1) 総事業費の推移		単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4) 評価		所管課による評価						
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	有 効 性 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズ</li> <li>事業の効果</li> <li>政策との整合性</li> <li>事業を廃止の影響</li> <li>類似事業との連携</li> <li>公平性</li> </ul> <p>毎日の散歩やジョギングなどで公園を利用しているほか、年間利用として、グランドゴルフ・ゲートボール等の団体利用や遠足・イベント開催などに幅広く利用されている。これらにより、市民の健康づくりに役立っており、また、災害等による避難場所としての防災機能を持っているため、本事業を廃止はできない。</p>							
年間トータルコスト	財源内訳	千円															
	国県支出金	千円															
	その他特定財源	千円	1,930	2,265	8,138	7,364	500	500									
	一般財源	千円	4,974	18,918	6,634	6,420	60,000	60,000									
	事業費計 (A)	千円	6,904	21,183	14,772	13,784	60,500	60,500									
	所要人員 (年間)	人	0.600	0.600	0.600	0.600	0.600	0.600									
	人件費概算 (B)	千円	3,360	3,360	3,360	3,360	3,360	3,360									
	(A) + (B)	千円	10,264	24,543	18,132	17,144	63,860	63,860	達成度評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業効果向上</li> <li>事業費削減</li> <li>事務の効率化</li> <li>費用対効果</li> <li>財政負担の必要性</li> <li>関係者との連携</li> </ul> <p>公園管理面積17.7haを6人の作業員で行っており、公園利用者から管理が行き届いているとの声を聴く。また、指定管理制度による事業費削減など検討する余地はある。</p>							
(2) 事業概要									効 率 性 評 価	<p>公園内の美化、清掃作業、施設の維持管理をすることにより、市民の活動の場、憩いの場としての利用が推進された。</p>							
事業目的	都市公園は、市民のレクリエーションの空間・健康づくりの場・良好な都市景観の形成・都市環境の改善・都市の防災の向上・生物多様性の確保・豊かな地域づくりに資する交流を促進する。																
事業内容	都市公園の各種調査及び都市公園6箇所、開発行為に伴う公園6箇所の公園内の美化・清掃業務及び公園内施設の維持管理を行う。																
開始経緯	都市計画区域内外の都市公園は旧町より公園として管理されていた。																
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園管理作業員6名による公園内の維持管理 (伐採・除草・剪定等)</li> <li>専門業者・団体へ一部管理を委託 (浄化槽管理・トイレ清掃・SL整備清掃・遊具点検等)</li> <li>その他 (修繕・管理機械等)</li> <li>公園管理に伴う各種調査</li> </ul>							達成度評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値目標</li> <li>目指す状況</li> <li>実現性</li> <li>情勢・環境の変化</li> <li>事業期間</li> </ul>								
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが利用できる公園への再整備を推進するため、公園遊具の検討資料を作成した。</li> <li>台風による倒木に対し、補正を行い迅速に対応した。</li> </ul>							改革改善案	拡充	現状維持	○ 改善	効率化	廃止終了				
課題	公園施設や各管理器具の経年劣化による老朽化が進んでいるため、今後も安全に配慮し、定期的に更新を行う必要がある。							公園施設の新設及び更新を計画する。									

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		都市下水道管理事業					担当課		建設課		(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度				
							担当G	都市計画グループ					活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
							予算科目	会計	款	項	目	備考	(実績)	(実績)	(実績)							
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画体系	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち					1	8	5	3		ア	都市下水道延長	4,890	4,890	4,890	4,890	4,890	4,800		
(個別目標)	5	誰もが安心できる災害に強いまち					主な費目		委託料、工事請負費				イ									
(施策)	4	防災・減災対策の充実					対象		市民				成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)	総合戦略						事業期間		年度～ 年度 ( 年間)				ア	要望・相談件数	0	0	0	0	0	0		
(施策)													イ		1	1	1					
(1) 総事業費の推移		単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4) 評価		所管課による評価											
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	有 効 性 評 価		市民の生命・財産を守るために市街地の雨水を速やかに排除し、住環境の向上を図るうえで必要な事業である。											
年間トータルコスト	事業費	千円																				
	財源内訳	千円																				
	国県支出金	千円			11,320	15,400																
	その他特定財源	千円																				
	一般財源	千円	1,922	1,941	2,038	6,100	16,000	50,000														
	事業費計 (A)	千円	1,922	1,941	13,358	21,500	16,000	50,000														
	人件費	人	0.075	0.075	0.075	0.075	0.075	0.075	効 率 性 評 価		必要最低限の維持管理費であるが、年次的に水路を改修することにより、維持管理費を抑制できる。											
	所要人員 (年間)	人																				
	人件費概算 (B)	千円	420	420	420	420	420	420														
	(A) + (B)	千円	2,342	2,361	13,778	21,920	16,420	50,420	達 成 度 評 価		定期的に管理することにより、流域市民の快適な住環境が図られた。今後もコスト削減に取り組む。											
(2) 事業概要																						
事業目的	都市計画区域内において、市街地の雨水を速やかに河川へ排水し、市街地の快適な住環境の向上並びに浸水の解消を図る。																					
事業内容	都市計画決定を行った都市下水道5箇所及び管理水路10箇所の維持管理 (伐採・補修) を行っている。																					
開始経緯	昭和34年に志布志市街地の浸水対策として都市計画決定された下町都市下水道を皮切りに維持管理を行っている。								改 革 改 善 案		<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状維持</td> <td>○ 改善</td> <td>効率化</td> <td>廃止終了</td> </tr> </table>							拡充	現状維持	○ 改善	効率化	廃止終了
拡充	現状維持	○ 改善	効率化	廃止終了																		
実施状況	都市下水道の水路周辺の伐採・水路に堆積した土砂等の撤去を定期的実施した。また、補修が必要な水路については、可能な限り梅雨時期前に実施した。																					
成果	都市下水道流域調査作成、都市下水道維持補修委託 7件 町原都市下水道補修工事 L=126.0m								近 年 の ゲ リ ラ 豪 雨 や 、 高 台 の 宅 地 化 が 進 ん で い る こ と か ら 、 都 市 下 水 路 の 現 状 を 把 握 し 見 直 し が 必 要 な 場 合 は 新 た な 都 市 下 水 路 の 計 画 を 進 め る。													
課題	近年のゲリラ豪雨により、想定以上の雨量が流れるため、施設の見直しを検討する必要がある。																					